

## 平成 30 年度 授業評価表（授業力チェックリスト）

日 時	平成 30 年 月 日 ( ) 校時	授業者氏名		記入者氏名	
学部・学年	聴覚障害部門 学部 学年	教科・単元 (又は題材)			

※評価欄に○を記入してください。

(4 : できている 3 : 概ねできている 2 : 課題が残る 1 : できていない) \* 網掛けは部門確認事項と関連する部分

項目	重点	評価観点	評価
規 学 律 習		「どうぞ」「ありがとう」等、相手を意識した気持ちのよい言葉づかいの指導をしている。	4・3・2・1
準 教 備 材		目標達成に向けた教材が工夫されている。(視覚的教材・ワークシート・ノートの使い方・掲示等)	4・3・2・1
めあて・学習展開		学習意欲が高まるような課題・めあてにしている。	4・3・2・1
		確認の時間を設定している。(基礎・基本の定着)	4・3・2・1
		「話す」「聴く、見る」「読む」「書く」という学習活動を適宜指示している。	4・3・2・1
		考えを「発表(表現)する」「説明する」「話し合う」「書く」言語活動を取り入れている。	4・3・2・1
		学年、発達に応じた「ことば」を使用し、授業の中で「ことば」を拡げている。	4・3・2・1
		課題・めあてと対応した授業のまとめがある。	4・3・2・1
発問・指示等		幼児児童生徒の顔を見て、端的で、分かりやすい表現で話している。	4・3・2・1
		実態に合った、思考を伴わせるような発問をしている。(WHYを問う)	4・3・2・1
		発問や指示を正しく理解しているか、分かっていること、分かっていること等を、復唱や模倣により確認している。	4・3・2・1
思考・発言		幼児児童生徒が考える時間を確保している。	4・3・2・1
		適切な表現で答え方を指導している。(つなぎの言葉・話型の活用)	4・3・2・1
		分かったことは、幼児児童生徒がみんなに伝え(言語化)、共有している。	4・3・2・1
板書		学習の流れや思考の過程がわかる板書になっている。	4・3・2・1
視写		文節ひとまとまりで記憶しながら書くよう促している。	4・3・2・1
情報		実態に応じた適切な ICT 機器を活用している。	4・3・2・1

自由記述欄